



あさきた

第81号

2010.7月

発行部数/54,000部

■編集発行/社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会・広報委員会

〒731-0221 広島市安佐北区可部3丁目19番22号 安佐北区総合福祉センター4階

TEL.082-814-0811 FAX.082-814-1895 E-Mail:kita@shakyohiroshima-city.or.jp

http://www.shakyo-hiroshima.jp/asakita/

ささえあいのまち

日浦中学校の アルミ缶回収活動「アルボラ」



足でアルミ缶をつぶす様子



回収会社への引き渡し

■日浦中学校では、生徒会活動の一環として、平成11年よりアルミ缶の回収(リサイクル)活動に取り組んでいます。この活動の始まりは、ひとりの男子生徒が中学1年の夏、足を痛め、約1ヶ月間の寝たきりの入院生活をしました。そして動けない辛い体験後、1ヶ月ぶりにベッドから離れ、車いすで部屋から出た瞬間の喜びと感動は言葉にできないものでした。ちょうどその頃、「プルタブを1トン集めると車椅子がもらえる」という話を聞き、足が不自由で動けない人たちにも感動を味わってもらいたいと思い一人でプルタブを集め始めました。その事を当時担任であった河田優子先生(現在も在籍)に話すと、すぐに学年の全生徒に呼びかけの協力が得られ、さらにプルタブよりアルミ缶のほうが効率が良いということでアルミ缶回収が始まりました。

初めは、なかなか集まりませんでした。次には全学年に呼びかけ、生徒が保護者へ保護者が地域の方へと次第に広がり、今では遠く区外の方からの協力も定期的にあります。

■始めた頃には、「卒業するまでの3年間で10万円を集めて車椅子を1台贈る」という目標でしたが、1年

もたないうちに目標の10万円になり、初めて高齢者施設で贈呈式をした時には高齢者の方々が涙を流され喜ばれました。その感動がさらに励みとなり、「また、贈呈式をしたい」との思いが強くなったのがアルミ缶回収活動のスタートになりました。

■開始当初は、アルミ缶にスチール缶がまじっていたり、アルミ缶が洗われずそのまま持ち込まれたり、中にはたばこの吸い殻やビールの飲み残しがあったりで、中を洗わなければならないことも多くありました。今ではそういう事もなくなり引き取り会社からは、どこよりもきれいなアルミ缶が届くと喜ばれています。校内にあるアルミ缶回収ボックス「アルボラ」には毎日アルミ缶が届き、生徒たちが交代で缶つぶしを行っています。放課後はアルミ缶を踏みつぶす音とともに、楽しそうな笑い声や会話が校庭に響きわたっています。

現在までに61台の車椅子をインドネシア、ウガンダ、スリランカなどの外国をはじめ、地域の高齢者施設や卒業生の通学している高等学校に贈呈しています。贈呈式は生徒が自ら企画運営し、贈呈先とは温かい交流の輪が広がっています。

※P2下段に続く

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金により作成しました。

広島市安佐北区社会福祉協議会 平成22年度 事業計画

「ささえあいのまちづくり」を進めるための事業・活動に取り組みます。

1 「安佐北区地域福祉活動第5次5か年計画」(平成20～24年度)の推進に積極的に取り組みます。

2 安全・安心・こころ豊かに暮らせる地域をつくろう(たすけあう)

(1) 小地域福祉活動の推進(地区社協活動・組織強化への支援)

福祉のまちづくりを総合的に進めるために「福祉活動の拠点づくり」と明日のわがまちの計画づくりである「福祉のまちづくりプラン策定」の取り組みを安佐北区と連携しながら積極的に支援します。

(2) 要援護者支援のネットワークづくりと当事者・家族の主体的活動の支援

広島市の「災害時要援護者避難支援事業」と連携を図ながら近隣ミニネットワークづくりの推進に取り組むとともに、高齢の人や障害のある当事者・家族の地域参加の場づくりや、社会参加活動、仲間づくりを支援します。

3 一人ひとりの暮らしを支えよう(ささえる)

要支援の高齢者や障害者への日常生活支援「かけはし」や各種生活支援貸付資金等「総合的な相談、援助機能の強化」、障害者ガイドヘルパーによる「社会参加の支援」に取り組みます。

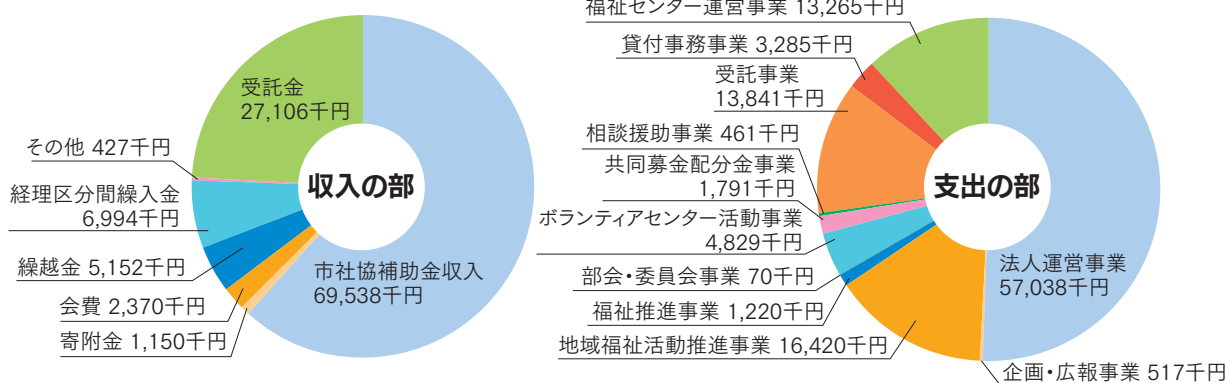
4 ささえあいの輪を広げよう(ひろめる)

「ボランティア活動、地域活動への参加推進」に積極的に取り組みます。

5 活動をささえる仕組みを整えます(ととのえる)

共同募金や寄付金等の安定的な確保に向け、広報誌等を活用したPRに努めます。

平成22年度予算 予算額:112,737千円



※P1より続く

■また、平成15年3月からは「卒業トイレみがき」として、生徒全員が素手、素足で保護者と一緒に校内のトイレを磨く活動も行われています。「トイレをきれいにする人は、トイレを汚さない」まず、身近なところから一歩を踏み出す大切さ、そのことが物を大切に

する、リサイクル、資源の節約の活動、人を大切にする、地球環境の保全と大きな広がりとなって受け継がれていくのではないかと・・・この先も日浦中学校の伝統として誇り高く大きな未来につながっていくことでしょう。

平成22年度 ボランティア講座予定

子育て支援 ボランティア 養成講座

日時 7月23日(金)
7月30日(金)
毎週金曜日(全2回)
会場 安佐北区総合福祉センター
内容 ・子育て事情について



ヤング ボランティア スクール

日時 8月3日(火)・
8月4日(水)・8月5日(木)
会場 安佐北区総合福祉センター
倉掛公民館・ふくろ塾(白木町)ほか
対象 原則として安佐北区に居住または
通学の高校以上25歳以下の方
内容 子どもたちと一緒に遊ぼう
(水遊び・レクリエーション)



視覚障害者 外出支援 ボランティア講座

日時 10月22日(金)
会場 □田公民館
内容 ・視覚に障害のある方のお話
・アイマスク体験、
ガイド体験

ボランティア きっかけ講座

日時 1月予定
会場 安佐北区総合福祉センター
内容 これからボランティアを
始めようとする人たちに
のきっかけづくり

手話 ボランティア 入門講座

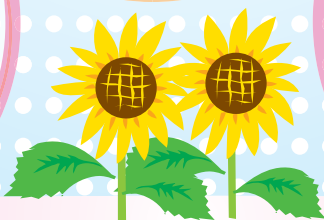
日時 9月22日(水)～10月6日(水)
毎週水曜日 全3回
会場 安佐北区総合福祉センター
内容 ・聴覚に障害のある方のお話
・手話の講義・技術

精神保健福祉 ボランティア講座

日時 11月予定
会場 安佐北区総合福祉センター
内容 ・精神に障害のある方のお話
・病気の理解

心身障害児者 ボランティア講座

日時 2月予定
会場 安佐北区総合福祉センター
内容 ・障害児者を取り巻く状況



お問い合わせ・申込先 安佐北区社会福祉協議会 TEL(082)814-0811 FAX(082)814-1895

福祉サービス利用援助事業「かけはし」

物忘れなどのある高齢者や知的障害・精神障害等のある方で、日常生活を営むうえで不安のある方が安心して生活が送れるよう、生活支援員が定期的に訪問しお手伝いします。

役所から
手紙がきたけど、
ようわからん…

お金の支払いが
一人で
できなくて…

あの通帳、
どこへ
やったのかなあ。

一人暮らしの
生活は何かと
不安だわ。



このような援助を行います。(ご近所で心配な方がおられましたらご相談ください。)

《福祉サービス利用援助》

福祉サービス利用の手続き・書類の整理など、日常生活に必要な事務手続きのお手伝いをします。

《日常的金銭管理サービス》

公共料金の支払いや生活費のお届けなど日常生活に必要な金銭の出し入れに関するお手伝いをします。

《書類など預かりサービス》

預貯金通帳などをご自分で管理することが不安な場合に大切な書類をお預かりします。

第25回

ふれあいフォトコンテスト募集!

「人の役に立つよろこび」や「相手を思いあう心」など福祉のこころをイメージできる写真を募集します。

応募資格 安佐北区内にお住まいの方。

応募期間 平成22年8月2日(月)～平成22年10月15日(金)【必着】

表彰 金賞(区社協会長賞)1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作若干、入賞作品に対し賞状・副賞を贈呈します。

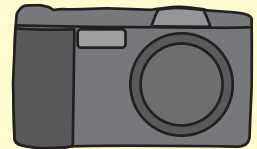
発表 入賞者には後日通知し、本会広報紙などで発表します。

授賞式 平成22年12月4日(土)
第31回 安佐北区社会福祉大会にて



応募上の注意など

- ・未発表のもので1人2点まで、必ず応募者本人が撮影したものであること。
 - ・応募作品は2L判のプリントのみ受け付け(カラー、モノクロ、デジタル、フィルムなどの撮影方法は問いません)応募作品は返却いたしません。
 - ・平成21年4月以降に撮影した、未発表のものに限ります。
 - ・同一原版で他のコンテストへの重複応募は受け付けられません。(被写体となられた方には、応募することの了解を得てください。)
 - ・応募要項に該当しない作品の取扱いは、主催者側で判断させていただきます。
- ◎応募用紙は安佐北区社会福祉協議会にあります。



お知らせ

今年度、安佐北区ボランティアグループ連絡会にて役員改選がおこなわれましたのでお知らせいたします。

佐々木洋子前代表(ひまわり会)は10年間、安佐北区ボランティアグループ連絡会を支えてこられ、皆川新代表にバトンを渡されました。

これからも安佐北区のボランティア活動が盛り上がりますようにみなさまのご協力をお願いいたします。

代表：皆川みどりさん

(亀山南福祉ボランティア)

副代表：小原明子さん

(手話サークル亀たつの子会)

和田栄一さん

(安佐北ミミの会)

会計：桑原キミ子さん

(精神福祉ボランティアかすみ草)

愛の灯

安佐北区社協では、皆さまより物品や多額のご寄附をいただきました。社会福祉事業に対するご理解並びにご協力に感謝申し上げます。ここに報告いたします。

(平成22年2月～平成22年5月末日)

〈一般寄附〉

勝内寺仏教婦人会様

可部中学校昭和39年度同窓会様

匿名希望一名様

〈香典返礼〉

池田百合子様

石川美佐子様

金子哲次様

匿名希望一名様

〈物品寄附〉

・車いす4台

成和産業(株)様

